ゲノム再生医学講座ゲノム医療学分野教授候補者へのアンケート

 候補者　所属：

 　　　　氏名：

以下の各項目について、ご意見をお願いします。

1. 「ゲノム医療学」について

1.1.「ゲノム医療学」の社会的役割と、ご自身の研究領域について述べてください。

（ゲノム医療学が新しい学問領域であるため、この学問領域が果たす社会的役割を理解した上で、皆様の研究領域を理解したいと考えています。そのため、以下の内容と重複する場合もあり得ますが、この点ご容赦下さい。）

1. 教育（ゲノム医療学分野の教員は、医学部においては医学科専任教員、大学院医学系研究科においては医学専攻ではなく、医科学専攻専任教員となります。）
	1. 学部・大学院の教育課程における講義名・担当分野、講義や実習経験、担当年数（適宜、行を追加して下さい）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| # | 学部・大学院区分 | 講義名・担当分野 | 講義・実習区分 | 担当年数 |
| 例 | 医学部 | 生化学 | 講義・実習 | １０年 |
| 例 | 医学専攻 | 遺伝学 | 特論・演習 | １０年 |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |

* 1. 卒前・卒後の臨床研修に繋がる教育実績

（充実した臨床研修が求められています。臨床実習の充実化のために、準備段階となる基礎医学の修得時期に講義・実習等を通じて工夫された経験をご教示下さい。）

* 1. 大学院進学に繋がる教育実績

（院生数の増加が研究の活性化に不可欠と考えています。大学院進学率を上げるために工夫された経験をご教示下さい。）

* 1. 大学院教育の実績

（大学院教育内容の充実化は、院生数の増加と共に研究の活性化に不可欠と考えています。その充実化のために工夫された経験をご教示下さい。）

* 1. その他の医学教育の実績
	2. その他の人材育成の実績
	3. 今後目指したい学部教育と大学院教育

（過去の教育実績に基づき、鳥取大学医学部医学科においても、新たな教育に向けた工夫をお考えのことと思います。その具体的内容をご教示下さい。）

* 1. その他、教育に関する特記事項
1. 研究
	1. ご自身の研究課題
	2. 施設内共同研究の実績（大学等の各研究室・臨床各科等）
	3. 施設外共同研究の実績（国内・国外関連施設等）
	4. トランスレーショナル・リサーチ（橋渡し研究）の実績
	5. その他の研究実績
	6. 着任後に対象としたい研究課題
	7. その他、研究に関する特記事項
2. 社会貢献（国内・国際地域社会）
	1. 教育を通じた社会貢献実績
	2. 研究を通じた社会貢献実績
	3. その他の社会貢献実績
3. 管理・運営
	1. 大学・医学部・研究所等の管理・運営に関する役員・委員等（代表的なものを中心に、行を追加して記載下さい）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| # | 機関・部局 | 役職名 | 年数 | 特記事項 |
| 例 | 医学科 | 教育委員会・副委員長 | ２年 |  |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |

6．着任後の教室の運営方針

7．その他参考となる事項